

研究会 「放射化分析及び中性子を用いた地球化学的研究-1-

日時：2018年1月10日（水）9:40-17:00頃

場所：京都大学原子炉実験所事務棟大会議室

9:40 はじめに 松尾基之

座長 関本俊

9:45-10:05 東京湾貧酸素水塊発生地域の底質中元素の挙動 三原祐吾（東京大学）

10:05-10:25

中性子放射化分析後の試料を用いた米国での研究例：鉱物観察と新鉱物発見に至るまで 伊佐純子（九州大学）

10:25-10:45 高純度金属の純度評価への中性子放射化分析の応用 三浦勉（産総研）

10:45-11:05

放射化分析による難測定核種分析への適用性検討 -金属 Zr から ^{90}Y の m/g 算出- 川上智彦（嬬化研）

11:05-11:25 ガリウム同位体から見る太陽系中揮発性元素の挙動 加藤千図（大阪大学）

11:25-11:55

加速器質量分析法（AMS）による極微量放射性核種の高感度分析手法の開発 笹 公和（筑波大学）

11:55-12:20 ICP-MS を用いた地球化学的試料の微量白金族元素の定量 白井直樹（首都大学東京）

12:20-12:50 昼食

座長 松尾基之

12:50-13:10 南鳥島の形成過程と Ar-Ar 年代 平野直人（東北大学）

13:10-13:25 オレゴン州立大学原子炉での Ar/Ar 年代測定用試料中性子照射 石塚 治（産総研）

13:25-14:05 PHITS を使った宇宙線シミュレーションと地球科学への応用 佐藤達彦（JAEA）

14:05-14:20 Attempt on high sensitive measurement of chlorine 西泉邦彦（University of California, Berkeley）

14:20-14:40 「 Mohamed Soliman (Egypt second research reactor)

14:40-15:00 休憩

座長 大槻勤

15:00-15:30 AE 測定法を利用した評価法の紹介（仮題） 鹿野弘二（函館高専）

15:30-15:55 多重ガンマ線放射化分析法の地球化学への応用 初川雄一（量子科学機構）

15:55-16:05 JRR-3 の現状について 松江 秀明（JAEA）

16:05-16:30 原子力行政での私の経験 和田智明（神戸市立青少年科学館）

16:30-16:50 FNCA における NAA グループの活動報告&その他 海老原充（首都大学東京）

16:50- おわりに 大槻勤

17:00-18:00 日本放射化分析研究会拡大幹事会